



愛知長久手ロータリークラブ

2015-2016



WEEKLY

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 小谷恒夫 幹事 青山和成 会報 宮下智香子

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



世界へのプレゼントになろう



本日 第 616 回例会 2015 年 12 月 8 日(火曜日)第 608 号

<本日のプログラム> Today's Program

卓話: 年次総会

点鐘

講師: 会長・幹事

<ロータリーソング> 「我らの生業」

前回 第 615 回例会 2015 年 12 月 1 日(火曜日)記録

<ロータリーソング> 「君が代」「奉仕の理想」

総合司会 山田文明親睦活動委員長

<出席報告>

員総数 20 名

出席者 15 名 出席率 100.00 % 前々回補正出席率 95.00 %



カレーセット

<会長挨拶> 愛知長久手ロータリークラブ 小谷恒夫 会長



グリエルモ・マルコーニ

生誕 1874 年 4 月 25 日 イタリア王国 ボローニャ
 死没 1937 年 7 月 20 日(63 歳) イタリア王国 ローマ
 出身校 ボローニャ大学
 主な業績 無線通信
 主な受賞歴 ノーベル物理学賞

マルコーニはイタリアのボローニャの地主の家に生まれた。母はアイルランド人で、Jameson Whiskey Distillery の創業者の曾孫である。母の実家から研究費の援助を受けていた。幼い頃から電波に興味を持っていたマルコーニはボローニャでアウグスト・リーギに師事し、その後フィレンツェの Istituto Cavallero、さらにリヴォルノへと移っていった。マルコーニは自宅の屋根裏で自前で作り、実験を開始した。彼の目標は電波を使った「無線電信」の実用的なシステムを完成させることだった。すなわち電線を使わずに電信のメッセージを遠隔地に伝送することを目標とした。これは何も目新しいアイデアではない。50 年以上(電波発見から 50 年も経って無い...)に渡って多くの人々が無線電信技術を実現しようと探究してきたが、商業的成功に至った者は 1 人もいなかった。マルコーニは無線電信システムの開発において新しい革新的原理を発見したわけではなく、個々の部品を改良してそれらを組み合わせてシステムを構築しただけである。

マルコーニは国際的に注目されるようになっていった。1897年7月、イタリアに帰国してラ・スペツィアでイタリア政府向けの公開実験を行った。1898年7月6日には、ロイズのために北アイルランドのバリーキャッスルとラスリン島の間で実験を行った。1899年3月27日にはフランスのウィムルーとイングランドのサウナフォアランド灯台(en)を結び、イギリス海峡を横断する実験を行った。1899年秋には、アメリカ合衆国で最初の公開実験を行い、ニューヨークで国際ヨットレースであるアメリカスカップのレポートを無線で伝えるというデモンストレーションを行った。

アメリカ合衆国へはニューヨーク・ヘラルド紙に招待されて行き、アメリカスカップの模様を無線で伝えることを依頼された。送信機は Ponce という客船に設置された。アメリカからイングランドに戻るべく出発したのは1899年11月8日のことで、American Line の St.Paul という船に乗った。船上で助手と共に通信機を設置し、11月15日に船がイギリスの海岸から66海里まで近づいたとき、マルコーニがおいた無線局との間で無線電信のやりとりに成功した。1912年に発生したタイタニック号の遭難の際には、無線電信会社社員が同乗し救難信号を送信している。タイタニック号に乗船していた2人の無線技師は、ホワイト・スター・ラインに雇われていたわけではなく、マルコーニ無線電信会社の社員だった。タイタニック沈没後、生存者がキューナード・ラインのカルパチア号に救助された。生存者名簿を無線で最初に受信したのもマルコーニ社の社員だったデイヴィッド・サーノフである。カルパチア号とサーノフは72時間に渡って通信したとされているが、近年の歴史家にはサーノフの関与を疑問視する向きもある。カルパチア号がニューヨークに入港すると、タイタニック号に乗船していて救助された無線技師と話をするため、マルコーニはニューヨーク・タイムズの記者に同行して乗船した。1912年6月18日、タイタニック沈没の件を調査する法廷で、マルコーニは船舶電信の機能と緊急時の規定についての証拠を提出した。イギリスの郵政公社総裁は、「救助された人々はマルコーニ氏と氏の素晴らしい発明をに救われた」と述べている。

1899年、ドーバー海峡横断の無線通信に成功。イギリス海軍の大演習でもマルコーニ社の無線が使用された。

1901年、大西洋横断の無線通信に成功する。

これら業績に対しては、各国から栄誉が与えられた。1909年ドイツの物理学者ブラウンとともにノーベル物理学賞を受賞し、1933年日本を訪れたマルコーニに対し、日本政府は勲一等大綬章を贈る。

<委員会報告>

◆祝福 お誕生日おめでとうございます

11月18日 白石政二郎さん



■ニコボックス■

- ・卓話させていただき有難うございます。 国際ロータリー2760地区
補助金委員会 副委員長 田島 保紀
- ・田島保紀様ようこそお越し頂きました。卓話宜しくお願い致します。 青山 和成
- ・白石さんお誕生日おめでとうございます。本日も宜しくお願い致します。 丹羽 司一
- ・お久しぶりです。本日も宜しく申し上げます。 白石政二郎
- ・本日も宜しく申し上げます。 富田 盛義
- ・お久しぶりでございます。幽霊もたまには足が生えます。本日もよろしく申し上げます。 伊藤 広治
- ・補助金委員会 田島保紀様卓話よろしく申し上げます。白石政二郎さんお誕生日おめでとうございます。サニースピーチがんばれ！
- ・ロータリー財団2760地区補助金委員会 副委員長 田島保紀様ようこそおいで下さいました。 日野 典子
- ・白石さんお誕生日おめでとうございます。
- ・財団補助金委員会 副委員長 田島様本日はようこそ。卓話よろしくお願い致します。 山田 文明
- ・田島様本日はようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしております。白石さんお誕生日おめでとうございます。増々ご活躍を！！ 中川 清子

- ・田島様本日はようこそおいで下さいました。卓話を楽しみにしています。白石さんお誕生日おめでとうございます。 田中 信子
- ・田島副委員長ようこそお出でいただきました。白石さんおめでとうございます。 林 正俊
- ・今年もあと1か月となりました。1年が早く過ぎて行く気がします。 宮下智香子
本日も宜しく願います。
- ・田島保紀様保本日は卓話ご苦労さまです。よろしく願います。 奥野 悦弥
白石政二郎さん誕生日おめでとうございます。
- ・本日もどうぞよろしくお願い致します。 伊藤 真
- ・国際ロータリー第2760地区補助金委員会 副委員長 田島保紀様ようこそおいで下さいました。白石さんお誕生日おめでとうございます。 神谷 恵理
- ・こんにちは田島さんようこそおいで下さいました。 小谷 恒夫
“秋晴れの ヒストリックカー ビンテージ アバルト,ゴルディーにそしてサニーなの”

<幹事報告>

- ① 第6回理事役員会は例会終了後行いますので理事役員の方はよろしくお願い致します。合わせて指委員会を理事役員会後行いますのでよろしくお願い致します。
- ② 11/8(日)長久手市民祭で11165円のポリオ募金が集まりましたので、ロータリー日本財団へポリオ寄付いたします。
- ③ 来年度ガバナー補佐訪問の日程は8/9(火)に確定いたしましたのでご報告いたします。
- ④ 幹事報告で地区大会・IM・年次寄付は例会時にお支払いのお願いをさせて頂いておりましたが、移動例会が続いておりますので、下期会費と合わせてご請求させていただきますのでよろしくお願い致します。
- ⑤ 年末家族例会のご案内をさせて頂いておりますが、ご返事は12月8日までになっておりますが、予定わかり次第早めのご連絡をお願いいたします。
- ⑥ 移動例会が続いていましたので、ロータリーの友が3か月まとめでの配布となっておりますので願います。
- ⑦ WEEKLY 第601号から第606号までまとめて配布させていただきましたが、第607号WEEKLYにつきましては、犬山RCより12/1(火)到着で資料が送られてきますので、第607号につきましては次週まとめてお渡しいたします。

<配布物> ロータリーの友・IM記念品

<卓話>

国際ロータリー第2760地区
補助金委員会 副委員長 田島 保紀

財団寄付の種類 (3種類)

【年次基金】 1人当たり毎年150ドル寄付をお願いする。

3年後にDDF(地区活動資金)として戻ってくる。

【恒久基金】 寄付の元金を使わず、運用益のみ奉仕プログラムに利用

(1000ドル寄付するとベネファクターの認識資格)

【年次基金】 - 毎日庭に水を撒き、花々に水分を供給するようなもの

【恒久基金】 - いつでも水が撒けるように十分な水を用意しておく貯水池

【使途指定寄附】 - 使い道を決めて寄付する

ポリオ・奨学基金・平和フェローシップ

2015-2016 年度ロータリー財団の優先項目と具体的目標

優先項目 1：永久ポリオを撲滅する

具体的目標（地区内）

- ①2018 年までに撲滅するためには、寄付がまだ不足
- ②アドボカシー活動を実施（例：WFF）

優先項目 2：ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付の向上をはかる

具体的目標（地区内）

- ①R 財団セミナーおよび補助金管理セミナーの開催
- ②財団月間による卓話の実施
- ③ロータリー月間が変わった

優先項目 3：財団の補助金と 6 重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める

具体的目標（地区内）

- ①グローバル補助金に基づく奉仕プロジェクトの増進
- ②グローバル補助金に基づく奨学生の増加
- ③グローバル補助金に基づく VTT プロジェクトの実施

優先項目 4：「世界で良いこと」をしてきた財団 100 年の歴史に注目し、財団の功績の認識を高める

具体的目標（地区内）

- ①2016-2017 年度 R 財団 100 周年
- ②一般の人びとによるロータリーの認知度の向上策実施

ロータリーの特別月間が変わります（新年度 7 月から）

- 8 月 会員増強拡大月間
- 9 月 基本的教育と識字率向上月間
- 10 月 経済と地域社会の発展月間
- 11 月 ロータリー財団月間
- 12 月 疾病予防と治療月間
- 1 月 職業月間
- 2 月 平和と紛争予防/紛争解決月間
- 3 月 水と衛生月間
- 4 月 母子の健康月間
- 5 月 青少年奉仕月間
- 6 月 ロータリー親睦活動月間

7 ヶ月の特別月間が、財団にかかわるテーマに変更



12 月 19 日(土)	12 月 22 日(火)	12 月 29 日(火)	1 月 5 日(火)
年末家族例会	会員卓話	規定休日	規定休日
(Piano PIANO)	(華 野)		